事例No.	2136
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	滋賀県守山市

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・AI ・ICT

事例種類	教育

事例内容・タイトル

AIドリルを導入し、家庭学習の充実・授業における指導に活用

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

156 AIドリルを導入し、家庭学習の充実・授業における指導に活用【滋賀県守山市】

事業の概要

○　GIGAスクール構想の早期実現で一人一台端末が整備されました。本市では、「ICTを使うこと」を目的とせず、「授業づくりで必要となるICTとは何か」という授業づくりを中心とした観点で、ICTの有効性を研究している。

○　市は、AIドリルを単に導入するのではなく、「学校が、また授業を実践する教員が、感じている課題解決のために必要であるから活用する」という活用のスタイルを目指している。
　また、AIによる個別最適化された出題による基礎学力の定着を図っている。

○　具体的には、「課題テストの結果に応じて、個別に出題される復習課題に一定期間取り組んだ上で、各人の弱点にチャレンジさせる」、「知識・技能面で見落とされがちな部分についての課題を出題し、子どもたちが取り組んだ上で、授業において、思考を深める場面での表現の仕方の変化をみる」などの方法で活用している。

【参考情報①】 人口：8.5万人
関連URL：https://city.moriyama.lg.jp

【参考情報②】edtech導入補助金（経済産業省）とは
URL：https://www.edt-hojo.jp

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



（総務省）取組の経緯・きっかけを教えてください。



（守山市）
新型コロナウィルス感染拡大に伴う児童生徒の学びの保障、普段の家庭学習の充実、児童生徒の学びの状態を把握し、学習指導に活かす等の観点から、市内の小中学校の全学年においてAIドリルを導入しました。



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



有効性を判断するにあたり、経済産業省のEdtech導入補助金（令和２年度）を活用し、全児童生徒を対象にAIドリルの試験導入と検証を行いました。これにより、本格導入に向けた検証を進めることができました。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



GIGAスクール構想の早期実現により、急激に教育とICTが身近になりました。
AIドリルは導入したら終わりではなく、児童生徒の学ぶ力の向上に向けてどのように活用するかが重要です。
ねらいを明確にし、Edtechなどを活用して導入に向けた検討するのがよいのではないでしょうか。

★担当：守山市教育委員会 学校教育課★

令和3年度事業費　23,271千円